



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

◆第44回相生市青少年健全育成市民大会を開催しました。 (令和7年1月26日(日) 相生市文化会館 なぎさホールにて)



今年も相生高校・相生産業高校の生徒13名が大会スタッフとして参加してくれました。大会の雰囲気がやわらぎました。ありがとうございました。



相生警察署長の「少年非行の概況」では、相生署管内での少年非行の検挙数の紹介と「闇バイト」への注意喚起がなされました。



こんなSNSの投稿には 注意して…

稼がたいあなたへ
時給10万以上

#高収入
#高校生可
#安心安全
#即金払い
#アマギフ贈呈
キャンペーン
#フォロー、リッ
イートで●●円の
ギフト券進呈。

#だらけの募集に注意

「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグが多く並ぶ投稿は、誰が見ても怪しい。雇用主や仕事内容の記載等がなければ、無視するのが一番、関心を持たないで。

また近年では、「高額バイト」等と直接表記をせず、
●フォローで「ギフト券」プレゼント
等と称し、プレゼント応募ページから闇バイト募集サイトに飛ぶことも。

記念講演 「自信とやる気を引き出すプラスの問いかけ」

長谷川 満さん



『・・・以前公共広告機構のCMでこんなのがありました。「命は大切だ。命を大切に」。そんなこと何千回、何万回言われるよりも「あなたが大切だ」と誰かがそう言ってくれたなら、それだけで生きていける。今、子どもたちに必要なメッセージは、「あなたはかけがえない大切な存在なんだよ」という心からの言葉であり、関りなのではないでしょうか。子どもたちが、「自分は、そのまま大切な存在なのだ、そのまま愛される存在なのだ」と思えることこそが、自尊感情であり、自己肯定感ではないでしょうか。』

阪神・淡路大震災から 30 年が経ちました。前号に引き続き今回は「あっこちゃんのはさみ」を紹介します。

阪神・淡路大震災当時小学校 5 年生だった浅井亜希子さん(あっこちゃん)は母親とともに震災で倒壊家屋の下敷きとなった。約 8 時間後に救出されるが、長時間、重い柱で足を圧迫され、クラッシュシンドローム症候群を発症し、震災から約 3 週間後に息を引き取った。

お話には必死に命と闘っていたあっこちゃんの様子が描かれている。また、震災から 5 年後に建てられたあっこちゃんを偲ぶ震災メモリアルモニュメント時計も掲載されている。

話にはその後がある。あっこちゃんの母親は震災語り部となり、2014 年、震災から 20 年目の年に、震災当時、あっこちゃんが通っていた西灘小学校で経験を語った。

その後、偶然学校であっこちゃんの遺品である「はさみ」が発見され、母親のもとに届けられた。震災前のあっこちゃん家族の様子からはさみが戻ってくるまでの 20 年間の様子を描いたのが絵本・アニメーション教材「あっこちゃんのはさみ」である。

※クラッシュシンドローム症候群とは、災害や事故などによって長時間に渡って、身体の一部が圧迫され、その後圧迫が解除された後に血流が再開した影響で全身に異常が起こる症状のことです。

※神戸学院大学 船木ゼミの学生が作ったアニメーション教材「あっこちゃんのはさみ」は Youtube にて公開されています。ご覧になりたい方は右の QR コードから。



東井義雄 いのちの言葉〈2月〉 ～『東井義雄一日一言』(致知出版社)より～

どこかに必ず光がある

『遺愛集』という尊い歌集を遺している島秋人さんは、小、中を通じて成績がたいへん悪く、みんなからバカにされ、無視され、だんだん心が荒み、少年院に送られたこともある。ある雨の夜、飢えに耐えかねて一軒の農家に押し入り、二千元を奪い、そのとき、その家の人と争い、奥さんを殺し死刑囚となり既に処刑された。死刑囚として獄中で、小・中学校時代ただ一度、中学校の絵の先生が「絵は下手だが構図は君のが一番いい」と言われたことが思い出され、懐かしくなり、獄中から先生に手紙を出した。

先生からの返事に先生の奥さんの短歌が書き添えられていた。それを読んで、自分も歌が詠みたくなって、歌が生まれはじめた。島さんにも、尊い光があったのだ。

助からぬ生命と思えば一日の
小さなよろこび大切にせむ
安らかに笑みて受くべし殺めたる
罰受くる日のいつに來るとも
愛にうえし死刑囚われのたまわりし
菓子地におきて蟻を待ちたり
世のためになりて死にたし死刑囚の
眼はもらい手もなきかもしれぬ

自分の欠点

他人の欠点は
誰にでも見える
しかし
自分の欠点が見える人は少ない
自分の欠点が見えるだけでなく
それに挑み
改めていける人となると
さらに少ない

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッツ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

■臨床心理士による『相生っ子悩み相談』(要予約)

2月21日(金)と3月21日(金) 午後1時～4時

■センター職員による教育相談もご利用ください。

○来所相談 毎週 火曜日～金曜日 13:00～16:00

○電話相談 毎週 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(ただし、祝日は休み)

※一人で抱えこまずお気軽にご相談ください。

※問題に立ち向かうための元気づけ、勇気づけができればと思っています。

友達に言えないこと、
両親に言えないこと、
先生にも言えないこと、
ひとりで悩んでいないで、
気軽に電話してください。

小・中・高校生
保護者・ご家族の皆さんもどうぞ。

